

## グローバル視点での 変化対応力と 実行力の醸成に向けて



### 社外取締役として期待されていること

2013年6月にオムロンの社外取締役に就任し、1年が経ちました。

ものづくりの企業であるオムロンが、総合商社出身の私に対して期待していることは、グローバルな視点から環境の変化を素早くかつ正しく見定め、設定した目標に向かって確実に前進するための変化対応力と実行力の醸成に向けた助言、提言だと思っております。

オムロンが掲げる長期ビジョンVG2020の実現に向けて、社外取締役の職務を全うし、経営活動のお役に立ちたいと考えております。

### 役員報酬制度の改定について

社外取締役に就任と同時に、報酬諮問委員会の委員長に就任し、オムロンの報酬ガバナンスの強化に向けて、活発な議論を進めてまいりました。

オムロンでは、経営戦略において中長期の経営目標を設定していましたが、その達成に連動する取締役の報酬制度はなく、オムロンの目指す持続的に成長する企業となるためにさらなる報酬ガバナンスの強化が必要と感じ、役員報酬制度の改定に着手いたしました。

新たな報酬制度として、中期経営目標達成度に連動する中期業績連動賞与を導入すると共に、中長期の株主価値創造と取締役の自社株保有の促進を目的として、業績達成条件付新株予約権を発行し、取締役の報酬ガバナンスの強化を図りました。

コーポレート・ガバナンスの強化は役員報酬や社内体制などの制度面のみならず、その実効性がともなって初めてその目的である企業価値の向上につながるものと考えます。取締役会や各諮問委員会を通じて、それぞれの取り組みの効果をしっかりと確認すると共に、今後もオムロンのコーポレート・ガバナンスの維持向上に向けて、積極的な提言に努めてまいりたいと思います。

2014年7月

社外取締役

小林 栄三

伊藤忠商事株式会社 取締役会長